

## 【小売店最新情報】（出典：台北時事通信）

### 『サツドラ』新店MRT中山駅地下にオープン

北海道発のドラッグストア「サツドラ」が1月1日MRT中山駅地下に新店オープンし、「サツドラ」としては2017年のオープン以来、12店舗目となります。

コンセプトは、渡航できなくても日本や北海道を感じて頂けるお店』との事で、桃園店では「北海道くらし百貨店」の珈琲を提供するコーナーを設置しています。店内では定期的に北海道フェアの開催が計画され、今後は北海道産の馬油、食品、お菓子類、クラフトビール等を取り扱う予定との事です。



### 『ドン・キホーテ』2店舗目オープン

日本発のディスカウントストア「ドン・キホーテ」を運営するPPIHグループの台湾2号店「DON DON DONKI忠孝新生店」が1月にオープンしました。立地は台北科技大学や光華電気市場に隣接する“台湾の秋葉原”と呼ばれるエリアで、若者が集う街です。

1号店と異なる最大の特徴は、ビル地下1階の売り場面積1541㎡の1フロアでの展開で、食品からコスメ、サニタリー用品、キッチン雑貨等、日本産品及び日本由来商品の品揃えのみに拘った商品が並びます。

「西門」という若者の街にオープンした1号店は、お菓子や雑貨系の陳列が目立つのに対し、2号店は生鮮品や精肉に力をいれた展開となっており、レジ奥には和牛ステーキ、いなり寿司、串団子や大福等が並ぶ光景は、まるで日本の店舗に居るような感覚を覚えます。台湾初入荷の商品も非常に多く、日本産商品の更なる認知向上につながるものと拝察しております。



## 台湾全家スーパーマーケット業態進出



ファミスーパー龍普店

台湾全家便利商店（ファミリーマート）がスーパーマーケット業態の運営に乗り出しています。

コロナの影響下、個人ニーズにはコンビニ業態で対応できるものの、自宅で飲食をする傾向が大きく、90%の家族が自宅で食事をするようになり、特に野菜の購買ニーズはコロナ前と比較すると約2倍、冷凍食品は約30%増になってきています。そのような状況の中、全家便利商店は新しく「FamiSuper」をオープンしました。

台北市と新竹市に各1店舗オープンし、年内15店舗の開店を予定しております。店舗の大きさは70坪前後で特に2～3人程度の家族対応型の店舗展開となり、自社ブランド「ママキッチン」の充実を図るほか、冷凍食品の「天和鮮物」、有機野菜の「永豊余生技」、豚肉等では有名な「究好豚」等とコラボ展開するなど冷凍食品販売にも力を入れています。

また、現在マヨネーズ、ドレッシング、焼肉たれ等が並ぶの**日本産調味料についても、今後はアイテム数を増やしていく予定がある**そうです。

## 【販路開拓のポイント及びアドバイス】

今回は3店舗の新店情報をお届け致しましたが、特に**ドン・キホーテ、サツドラ共にいずれの店舗も北海道食品の取り扱いがあり、両企業ともに更に食品を拡充したい意向**があります。

**ドン・キホーテは、台湾に在庫のある日本食品については、ほぼ全種類を買い上げ販売をされておりますので、台湾に流通のある食品につきましては、積極的にご紹介される事をお勧め致します。**また、ドン・キホーテはおよそ40%程度の食品を自社貿易で輸入されておりますので、**日本ドン・キホーテでお取り扱いのある商品でしたら、台湾での販売の可能性**があります。従いまして、日本にて商談を頂く事をご検討されても良いと考えます。

**サツドラは北海道の珈琲、リキュール、お菓子、珍味系の取り扱いが多い傾向**があり、**道産食品を充実させる計画**をされておりますので、現在日本の店舗で販売されている商品を台湾でも販売してもらう働きかけや、あるいは当アドバイザー事業へお申込みの上ご相談頂けましたら、商談マッチングも可能ですので、是非ともご検討下さい。